

平成28年11月

# 財 政 状 況

— 第 24 号 —

備 前 市

# 目 次

I	平成28年度上半期の予算補正及び執行状況について	1
	第1表 平成28年度上半期の一般会計予算補正及び執行状況	2
	第2表 平成28年度上半期の特別会計予算補正及び執行状況	4
II	平成27年度普通会計決算状況について	5
	第3表 普通会計歳入歳出決算状況	5
III	平成27年度決算における住民負担の概況について	8
	第1図 市民1人当たり税収入の状況	8
	第4表 受益者及び市民1人当たり各種施設管理費の状況	8
IV	備前市水道事業会計の状況について	9
	1. 平成28年度上半期の水道事業会計の経理状況について	9
	第5表 損益計算書	10
	第6表 貸借対照表	11
	第7表 資本的収支状況	12
	2. 平成27年度水道事業会計の決算概要について	13
V	備前市下水道事業会計の状況について	15
	1. 平成28年度上半期の下水道事業会計の経理状況について	15
	第8表 損益計算書	16
	第9表 貸借対照表	17
	第10表 資本的収支状況	18
	2. 平成27年度下水道事業会計の決算概要について	19
VI	備前市国民健康保険病院事業会計の状況について	20
	1. 平成28年度上半期の病院事業会計の経理状況について	20
	第11表 損益計算書	21
	第12表 貸借対照表	22
	第13表 資本的収支状況	23
	2. 平成27年度病院事業会計の決算概要について	24
VII	市債の現在高調	25
	第2図 会 計 別	25
	第3図 一 般 会 計	25
VIII	一時借入金現在高調	25
IX	財産の現在高調	26
	第14表 土地・建物	26
	第15表 有価証券	27
	第16表 出資による権利	27
	第17表 基 金	28
	第18表 貸付金・預託金	28
む	す び	29

今回の財政事情は、平成28年度上半期の予算執行状況等についてお知らせします。

## I 平成28年度上半期の予算補正及び執行状況について（9月30日現在）

### 一般会計

平成28年度上半期の予算の執行状況は、2回の補正が行われ、9億4,954万円が増額された予算現額211億2,321万円に対し、歳入については執行額105億7,048万5,000円で執行率50.0%、歳出については執行額72億3,811万2,000円で執行率34.3%となっています。

### 特別会計

予算の執行状況は、特別会計全体（水道、下水道及び病院を除きます。）の予算現額108億5,495万3,000円に対し、歳入については執行額40億9,605万2,000円で執行率37.7%、歳出については執行額41億394万6,000円で執行率37.8%となっています。

第1表 平成28年度上半期の一般会計予算補正及び執行状況

款	歳 入					
	当初予算額			予算現額	執行額	執行率
		1号	2号			
1. 市 税	4,894,548			4,894,548	2,874,177	58.7
2. 地 方 譲 与 税	130,000			130,000	34,715	26.7
3. 利 子 割 交 付 金	9,900			9,900	1,227	12.4
4. 配 当 割 交 付 金	40,000			40,000	4,662	11.7
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	26,000			26,000	0	0.0
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	704,000			704,000	371,260	52.7
7. ゴルフ場利用税交付金	0			0	137	0.0
9. 自動車取得税交付金	24,000			24,000	6,650	27.7
10. 地 方 特 例 交 付 金	10,000		811	10,811	10,811	100.0
11. 地 方 交 付 税	6,450,000		617,974	7,067,974	4,585,674	64.9
12. 交通安全対策特別交付金	3,500			3,500	0	0.0
13. 分担金及び負担金	66,953			66,953	26,303	39.3
14. 使用料及び手数料	194,726			194,726	92,728	47.6
15. 国 庫 支 出 金	1,431,967	43,489	25	1,475,481	605,551	41.0
16. 県 支 出 金	1,207,110	2,749	17,555	1,227,414	93,757	7.6
17. 財 産 収 入	48,326		50	48,376	15,945	33.0
18. 寄 附 金	1,812,586	3,294	1,358	1,817,238	720,992	39.7
19. 繰 入 金	1,251,318	211,112	△ 64,278	1,398,152	804,849	57.6
20. 繰 越 金	50,000		177,723	227,723	227,723	100.0
21. 諸 収 入	206,136	9,753	77,925	293,814	93,324	31.8
22. 市 債	1,612,600		△ 150,000	1,462,600	0	0.0
計	20,173,670	270,397	679,143	21,123,210	10,570,485	50.0

(平成28年9月30日現在)

(単位：千円，%)

款	当初予算額	歳 出			予算現額	執行額	執行率
		1号	2号	充用			
1. 議 会 費	184,970				184,970	94,765	51.2
2. 総 務 費	3,111,712	42,591	175,862	5,151	3,335,316	1,252,857	37.6
3. 民 生 費	6,029,550	167,287	38,014		6,234,851	1,831,271	29.4
4. 衛 生 費	1,799,309		43,174		1,842,483	615,934	33.4
5. 労 働 費	118,863	56			118,919	108,688	91.4
6. 農 林 水 産 業 費	330,989	600	23,069		354,658	165,671	46.7
7. 商 工 費	207,265	31,981	18,569		257,815	74,738	29.0
8. 土 木 費	2,545,912	29,780	8,880		2,584,572	1,045,845	40.5
9. 消 防 費	762,053		922		762,975	371,649	48.7
10. 教 育 費	2,389,711	13,417	184,246		2,587,374	814,607	31.5
11. 災 害 復 旧 費	0				0	0	0.0
12. 公 債 費	1,751,195				1,751,195	862,087	49.2
13. 諸 支 出 金	885,411	△ 2,178	49,052		932,285	0	0.0
14. 予 備 費	56,730	△ 13,137	137,355	△ 5,151	175,797	0	0.0
計	20,173,670	270,397	679,143	0	21,123,210	7,238,112	34.3

第2表 平成28年度上半期の特別会計予算補正及び執行状況

(平成28年9月30日現在)

(単位：千円, %)

会 計 名	当初 予算額	補正予算額		予算現額	執 行 状 況			
		1号	2号		歳 入		歳 出	
					執行額	執行率	執行額	執行率
国民健康保険事業	5,442,458	93,195		5,535,653	2,155,793	38.9	2,338,922	42.3
土地取得事業	4,033			4,033	3,991	99.0	13	0.3
三石財産区管理事業	5,436			5,436	3,804	70.0	394	7.2
三国地区財産区管理事業	7,545	167		7,712	7,576	98.2	799	10.4
浄化槽整備事業	21,317			21,317	8,205	38.5	7,515	35.3
後期高齢者医療事業	583,242	4,346		587,588	183,146	31.2	130,595	22.2
介護保険事業	4,045,943	99,050		4,144,993	1,636,977	39.5	1,559,869	37.6
飲料水供給事業	24,787	3,723		28,510	8,306	29.1	9,964	34.9
宅地完成分譲事業	2,017	9,409		11,426	7,856	68.8	222	1.9
駐車場事業	28,285			28,285	21,413	75.7	1,138	4.0
企業用地造成事業	480,000			480,000	58,985	12.3	54,515	11.4
計	10,645,063	209,890		10,854,953	4,096,052	37.7	4,103,946	37.8

## Ⅱ 平成27年度普通会計決算状況について

第3表 普通会計歳入歳出決算状況  
 < 歳 入 >

(単位：千円、%)

区 分	平成27年度		平成26年度		増減額 (A) - (B)	伸 率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
1. 市 税	4,941,394	21.6	5,029,380	24.0	△ 87,986	△ 1.7
2. 地 方 譲 与 税	136,262	0.6	130,322	0.6	5,940	4.6
3. 利 子 割 交 付 金	9,524	0.0	9,858	0.0	△ 334	△ 3.4
4. 配 当 割 交 付 金	28,437	0.1	41,225	0.2	△ 12,788	△ 31.0
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	25,846	0.1	21,866	0.1	3,980	18.2
6. 地 方 消 費 税 交 付 金	743,383	3.3	445,791	2.1	297,592	66.8
7. ゴルフ場利用税交付金	7,977	0.0	8,537	0.0	△ 560	△ 6.6
9. 自動車取得税交付金	23,413	0.1	13,782	0.1	9,631	69.9
10. 地 方 特 例 交 付 金	10,503	0.0	9,859	0.0	644	6.5
11. 地 方 交 付 税	7,265,532	31.8	7,000,592	33.4	264,940	3.8
12. 交通安全対策特別交付金	3,261	0.0	3,288	0.0	△ 27	△ 0.8
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	31,382	0.1	37,649	0.2	△ 6,267	△ 16.6
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	274,947	1.2	300,940	1.4	△ 25,993	△ 8.6
15. 国 庫 支 出 金	1,845,271	8.1	2,815,447	13.5	△ 970,176	△ 34.5
16. 県 支 出 金	878,858	3.9	1,215,824	5.8	△ 336,966	△ 27.7
17. 財 産 収 入	62,796	0.3	28,633	0.1	34,163	119.3
18. 寄 附 金	2,717,280	11.9	36,749	0.2	2,680,531	7,294.2
19. 繰 入 金	432,467	1.9	228,627	1.1	203,840	89.2
20. 繰 越 金	850,183	3.7	567,774	2.7	282,409	49.7
21. 諸 収 入	458,962	2.0	512,504	2.4	△ 53,542	△ 10.4
22. 市 債	2,077,300	9.1	2,471,676	11.8	△ 394,376	△ 16.0
計	22,824,978	100.0	20,930,323	100.0	1,894,655	9.1

※構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

< 歳出 ～目的別～ >

(単位：千円，%)

歳 出 ( 目 的 別 )						
区 分	平成27年度		平成26年度		増減額	伸 率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B)	
1. 議 会 費	190,672	0.9	196,669	1.0	△ 5,997	△ 3.0
2. 総 務 費	4,825,016	22.2	1,996,165	10.1	2,828,851	141.7
3. 民 生 費	4,942,245	22.7	4,693,779	23.8	248,466	5.3
4. 衛 生 費	2,427,590	11.1	1,766,935	8.9	660,655	37.4
5. 労 働 費	123,995	0.6	80,508	0.4	43,487	54.0
6. 農 林 水 産 業 費	375,188	1.7	826,356	4.2	△ 451,168	△ 54.6
7. 商 工 費	936,942	4.3	385,921	2.0	551,021	142.8
8. 土 木 費	2,512,651	11.5	3,929,374	19.9	△ 1,416,723	△ 36.1
9. 消 防 費	1,023,447	4.7	972,306	4.9	51,141	5.3
10. 教 育 費	2,362,467	10.8	3,123,045	15.8	△ 760,578	△ 24.4
11. 災 害 復 旧 費	61,644	0.3	2,104	0.0	59,540	2,829.8
12. 公 債 費	1,999,810	9.2	1,776,978	9.0	222,832	12.5
13. 諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	21,781,667	100.0	19,750,140	100.0	2,031,527	10.3

※構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。



< 歳出 ～性質別～ >

(単位：千円，%)

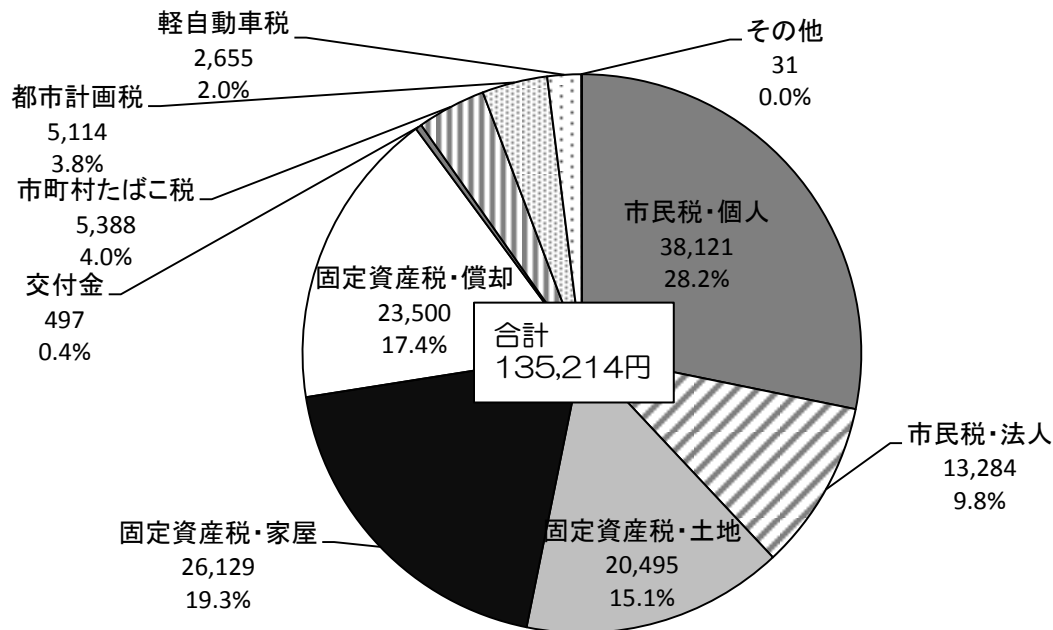
歳 出 ( 性 質 別 )						
区 分	平成27年度		平成26年度		増減額	伸 率
	決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	(A) - (B)	
1. 人 件 費	2,900,692	13.3	3,048,307	15.4	△ 147,615	△ 4.8
2. 物 件 費	3,867,023	17.8	2,306,962	11.7	1,560,061	67.6
3. 維 持 補 修 費	141,054	0.6	143,548	0.7	△ 2,494	△ 1.7
4. 扶 助 費	2,181,332	10.0	2,170,859	11.0	10,473	0.5
5. 補 助 費 等	3,377,343	15.5	3,152,091	16.0	225,252	7.1
6. 普 通 建 設 事 業 費	2,819,511	12.9	4,278,329	21.7	△ 1,458,818	△ 34.1
7. 災 害 復 旧 費	61,644	0.3	2,104	0.0	59,540	2,829.8
8. 公 債 費	1,999,778	9.2	1,776,978	9.0	222,800	12.5
9. 積 立 金	1,639,634	7.5	219,278	1.1	1,420,356	647.7
10. 投 出 資 及 び 貸 付 金	993,417	4.6	897,252	4.5	96,165	10.7
11. 繰 出 金	1,800,239	8.3	1,754,432	8.9	45,807	2.6
計	21,781,667	100.0	19,750,140	100.0	2,031,527	10.3

※構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

Ⅲ 平成27年度決算における住民負担の概況について

第1図 市民1人当たり税収入の状況

(単位 円、%)



※決算における各税収入を、平成28年1月1日現在の住民基本台帳人口(36,545人)で除したものの。

第4表 受益者及び市民1人当たり各種施設管理費の状況

区 分	対象人員等	受益者1人(戸)当たりの経費		市民1人当たりの経費	
		円	うち市税等で 支払われる額	円	うち市税等で 支払われる額
保 育 園	H27.4.1 人・戸 509	1,088,778	952,686	15,165	13,269
幼 稚 園	H27.5.1 301	621,761	601,621	5,121	4,955
ご み 処 理	H28.1.1 36,545	8,126	5,778	8,126	5,778
公 園	H28.1.1 36,545	2,448	2,448	2,448	2,448
市 営 住 宅	H28.3.31 344	85,398	32,366	804	305
市 民 会 館	H28.1.1 36,545	1,525	1,401	1,525	1,401
公 民 館	H28.1.1 36,545	2,502	2,434	2,502	2,434
図 書 館	H28.1.1 36,545	334	333	334	333

※対象人数等については、保育園・幼稚園は園児数、市営住宅は戸数、その他は住基人口。

#### Ⅳ 備前市水道事業会計の状況について

##### 1. 平成28年度上半期の水道事業会計の経理状況について

###### 【収益的収支】

平成28年度上半期の水道事業は、事業収益4億1,480万7,801円、事業費用3億909万380円で、差引1億571万7,421円の純利益が生じております。

###### 【資本的収支】

工事負担金601万6,680円を収入し、建設改良費と企業債償還金に合計1億3,798万1,084円支出しておりますが、他会計出資金、他会計負担金、工事負担金の一部は下期において収入見込みであります。

第5表 損益計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成28年9月30日

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	292,219,490	営業収益	403,558,243
(1) 原水及び浄水費	38,387,620	(1) 給水収益	400,680,156
(2) 配水及び給水費	70,934,960	(2) 受託工事収益	781,360
(3) 受託工事費	0	(3) その他営業収益	2,096,727
(4) 総係費	34,781,762		
(5) 減価償却費	148,097,984		
(6) 資産減耗費	0		
(7) その他営業費用	17,164		
営業外費用	16,784,990	営業外収益	11,249,558
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	16,777,100	(1) 受取利息 及び配当金	2,136,388
(2) 受託工事費	0	(2) 他会計補助金	0
(3) 雑支出	7,890	(3) 雑収益	1,245,093
		(4) 長期前受金戻入	7,868,077
特別損失	85,900	特別利益	0
上半期純利益	105,717,421		
支 出 合 計	414,807,801	収 入 合 計	414,807,801

第6表 貸借対照表

平成28年9月30日

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	8,108,491,947	3 固定負債	1,421,810,157
(1) 有形固定資産	8,107,264,739	(1) 退職給付引当金	4,340,000
イ 土地	276,730,661	(2) 企業債	1,417,470,157
ロ 建物	124,973,970	4 流動負債	57,952,445
ハ 構築物	5,732,135,788	(1) 未払金	8,338,319
ニ 機械及び装置	542,084,803	(2) 企業債	43,167,544
ホ 車両運搬具	4,593,539	(3) その他流動負債	4,485,430
ヘ 工具・器具 及び備品	1,708,141	(4) 賞与引当金	1,961,152
ト 建設仮勘定	1,425,037,837	5 繰延収益	593,490,721
(2) 無形固定資産	1,227,208	(1) 長期前受金	593,490,721
イ 水利権	1,227,208	6 資本金	2,189,867,864
(3) 投資その他の資産	0	(1) 自己資本金	2,189,867,864
2 流動資産	2,490,482,484	7 剰余金	6,335,853,244
(1) 現金・預金	2,303,661,881	(1) 資本剰余金	5,247,275,471
(2) 未収金	160,296,648	イ 国・県補助金	301,514,613
(3) 貯蔵品	12,084,100	ロ 他会計補助金	5,222,000
(4) 前払金	7,708,700	ハ 工事負担金	4,797,148,905
(5) 仮払金	6,631,155	ニ 受贈財産 評価額	143,389,953
(6) その他流動資産	100,000	(2) 利益剰余金	1,088,577,773
		イ 減債積立金	282,132,683
		ロ 建設改良 積立金	34,415,356
		ハ 当年度未処分 利益剰余金	772,029,734
合 計	10,598,974,431	合 計	10,598,974,431

第7表 資本の収支状況

自 平成28年4月 1日

至 平成28年9月30日

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 資本の支出	137,981,084	1 資本の収入	6,016,680
(1) 建設改良費	94,595,071	(1) 企業債	0
(2) 企業債償還金	43,386,013	(2) 他会計出資金	0
		(3) 補助金	0
		(4) 他会計負担金	0
		(5) 工事負担金	6,016,680
支 出 合 計	137,981,084	収 入 合 計	6,016,680

## 2. 平成27年度水道事業会計の決算概要について

### (1) 給水状況

平成27年度における給水戸数は1万5,618戸で前年度と比べ95戸(0.60%)の減、給水人口は3万5,581人で667人(1.84%)の減となりました。

配水量については、年間総配水量で613万6,450 m<sup>3</sup>、年間有収水量で488万7,427 m<sup>3</sup>となり、前年度に比べ総配水量で24万3,438 m<sup>3</sup>(4.13%)の増、有収水量では8万9,767 m<sup>3</sup>(1.80%)の減となりました。

### (2) 建設改良事業

建設改良事業については、配水設備改良事業で片上系送水管減圧弁や仕切弁の設置工事、配水管布設事業では八木山、三石、畠田、市道日生頭島線新設に伴う配水管布設工事や、福田、蕃山、穂浪、伊里、日生町日生、寒河などの支障配水管及び不良配水管の布設替え、また三石第1加圧ポンプ場電気計装設備取替工事等を実施し、総額1億7,954万8,323円(税込)を執行しました。

### (3) 財政状況

平成27年度の財政状況は、収益的収支では、事業収益7億6,889万1,292円で前年度に比べ3,438万7,587円(4.3%)の減収となりました。一方、事業費用は6億6,237万4,677円で、前年度に比べ7,089万1,257円(9.7%)減少しました。これは、工事請負費2,182万8,000円(73.0%)減、委託料1,406万3,584円(21.3%)減、などが影響しているものです。この結果、収支差引1億651万6,615円の純利益となりました。

次に資本的収支では、収入額(税込)3,562万3,533円に対し、支出額(税込)2億5,451万1,211円となり、収支差引2億1,888万7,678円の不足額を生じましたが、内部留保資金等で補てんしました。

## ○収益的収支

(単位 千円)

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
水道事業収益	817,977	803,279	768,891
水道事業費用	710,589	733,266	662,375
差 引	107,389	70,013	106,516

## ○資本的収支

(単位 千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度
資本的収入	152,454	427,985	35,624
資本的支出	469,457	883,472	254,511
差 引	△317,003	△455,487	△218,887

(注) 金額は千円単位で端数は四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。

本市の水道事業は、「豊富でおいしい水を未来へ」を基本理念に策定した備前市水道ビジョンに基づき、事業を推進してきました。今後も老朽化が進んだ施設の更新や、想定される震災等を考慮した施設の耐震化が控えていますが、計画を進めていくためには、引き続き多額の投資が必要となります。そのためにも、将来の給水量の減少を見込んだ施設の統合・縮小を含めた整備の再検討や、さらなる経費の節減に努めます。また、事業規模に即した適正な施設計画・財政計画・人材計画による事業運営を行い、経営基盤の強化を図り、安心・安全で良質な水道水が安定して供給できる水道を目指します。



## V 備前市下水道事業会計の状況について

### 1. 平成28年度上半期の下水道事業会計の経理状況について

#### 【収益的収支】

平成28年度上半期の下水道事業は、事業収益 8 億 7,527 万 107 円、事業費用 10 億 8,345 万 308 円で、差引 2 億 818 万 201 円の純損失が生じました。

#### 【資本的収支】

他会計出資金 4 億 7,073 万円、他会計補助金 1 億 1,666 万 1,000 円、工事負担金 4,228 万 80 円を収入し、建設改良費と企業債償還金に合計 7 億 5,140 万 8,969 円支出していますが、企業債、他会計出資金等の一部は下半期において収入見込みです。

第8表 損益計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成28年9月30日

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	869,641,050	営業収益	280,245,055
(1) 管渠費	16,364,119	(1) 下水道使用料	280,245,055
(2) ポンプ場費	13,822,063	(2) 他会計負担金	0
(3) 処理場費	104,596,589	(3) その他営業収益	0
(4) 普及促進費	6,430,270		
(5) 総係費	35,991,525		
(6) 減価償却費	692,436,484		
(7) その他営業費用	0		
営業外費用	207,368,880	営業外収益	595,025,052
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	207,368,880	(1) 受取利息 及び配当金	2,863
(2) 消費税 及び地方消費税	0	(2) 一般会計補助金	324,354,000
(3) 雑支出	0	(3) 長期前受金戻入	270,566,500
		(4) 雑収益	101,689
特別損失	6,440,378	特別利益	
		上半期純損失	208,180,201
支出合計	1,083,450,308	収入合計	1,083,450,308

第9表 貸借対照表

平成28年9月30日

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	41,635,770,533	3 固定負債	17,241,569,894
(1) 有形固定資産	41,635,770,533	(1) 引当金	781,000
イ 土地	587,794,371	(2) 企業債	17,240,788,894
ロ 建物	2,156,072,737	4 流動負債	766,807,111
ハ 構築物	36,020,093,782	(1) 未払金	30,874,749
ニ 機械及び装置	2,851,255,343	(2) 企業債	711,613,164
ホ 車両運搬具	935,352	(3) その他流動負債	23,159,646
ヘ 工具・機械及び備品	2,757,873	(4) 引当金	1,159,552
ト 建設仮勘定	16,861,075		
		5 繰延収益	15,314,435,101
		(1) 長期前受金	15,314,435,101
		6 資本金	9,299,541,497
2 流動資産	436,646,740	(1) 自己資本金	9,299,541,497
(1) 現金・預金	255,212,863		
(2) 未収金	160,314,957	7 剰余金	△ 549,936,330
(3) 前払金	11,440,614	(1) 資本剰余金	299,729,830
(4) その他流動資産	9,678,306	イ 国県補助金	288,063,000
		ロ 他会計補助金	0
		ハ 工事負担金	0
		ニ 受贈財産 評価額	11,666,830
		(2) 利益剰余金	△ 849,666,160
		イ 減債積立金	0
		ロ 当年度未処分 利益剰余金	△ 849,666,160
合 計	42,072,417,273	合 計	42,072,417,273

第10表 資本的収支状況

自 平成28年4月 1日

至 平成28年9月30日

(単位 円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 資本の支出	751,408,969	1 資本の収入	629,671,080
(1) 建設改良費	48,885,526	(1) 企業債	0
(2) 企業債償還金	702,523,443	(2) 他会計出資金	470,730,000
		(3) 国庫補助金	0
		(4) 負担金等	158,941,080
支 出 合 計	751,408,969	収 入 合 計	629,671,080

## 2. 平成27年度下水道事業会計の決算概要について

### (1) 処理状況

平成27年度における水洗化世帯数は1万1,219世帯で前年度と比べ196世帯(1.75%)減少しました。また、水洗化人口は2万6,110人で前年度と比べ452人(1.73%)の減となりました。

処理水量については、年間総処理水量305万4,798<sup>m</sup><sup>3</sup>、年間有収水量276万9,040<sup>m</sup><sup>3</sup>となり前年度に比べ、総処理水量で2万953<sup>m</sup><sup>3</sup>(0.69%)の減、有収水量では2万4,408<sup>m</sup><sup>3</sup>(0.88%)の増となりました。

### (2) 建設改良事業

公共下水道事業では、三石処理区汚水枝線(第27-1工区)整備工事、木生処理分区第34期汚水枝線(第1工区)整備工事等、前年度からの繰越しを含め総額1億6,425万4,874円(税込)を執行しました。

### (3) 財政状況

平成27年度の財政状況は、収益的収支では、事業収益20億1,763万1,827円、一方事業費用は23億5,908万8,024円で、収支差引3億4,145万6,197円の純損失となりました。

次に資本的収支では、収入額(税込)11億5,878万2,490円に対し支出額(税込)16億4,879万6,749円となり、収支差引4億9,001万4,259円の不足額を生じましたが内部留保資金等で補てんしました。

備前市の下水道事業は、昭和50年に備前地域で認可を取得してから毎年整備をすすめる、現在の処理区域面積は1,354haとなっており、日生地域、吉永地域については整備が完了しています。

下水道事業会計の財務部分においては、平成26年度から経営内容の透明化・使用料の適正化及びコスト・管理の縮減を目指し、独立採算の形態で事業を運営する地方公営企業に移行しましたが、一般会計からの補助金等でまかなわれているのが現状です。

今後は、耐用年数の経過した施設にかかる維持修繕費の増加が予想されますが、水洗化の向上を啓蒙するとともに経費節減による赤字額の減額を図り、健全経営に近づけるよう努めていきます。

## VI 備前市国民健康保険病院事業会計の状況について

### 1. 平成28年度上半期の病院事業会計の経理状況について

#### 【収益的収支】

本年度上半期の病院事業は、事業全体で、442万8,643円の純損失が生じました。

病院ごとの内訳は、備前病院が事業収益7億395万9,377円、事業費用7億1,377万7,681円で、差引981万8,304円の純損失、日生病院が事業収益6億3,422万3,672円、事業費用6億3,919万8,251円で、差引497万4,579円の純損失、吉永病院が事業収益9億7,184万4,029円、事業費用9億6,758万3,883円で、差引426万146円の純利益、老人保健施設外事業が、事業収益2億665万6,278円、事業費用2億55万2,184円で、差引610万4,094円の純利益が、それぞれ生じました。

合計すると、事業収益は25億1,668万3,356円、事業費用は25億2,111万1,999円で、差引442万8,643円の純損失となりました。

#### 【資本的収支】

資本的収支は、備前病院、日生病院、吉永病院及び老人保健施設外事業の器械備品購入費に3,784万2,390円、企業債償還金に1億7,331万3,284円、医学生、看護師等への修学資金貸付金として510万円の合計2億1,625万5,674円を支出しており、その財源は、他会計負担金、貸付金償還金及び過年度分損益勘定留保資金を充当しております。

第11表 損益計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成28年9月30日

(単位 円)

費用		収益	
科目	金額	科目	金額
医業費用	2,214,999,234	医業収益	2,113,242,364
(1) 給与費	1,176,125,608	(1) 入院収益	875,785,698
(2) 材料費	582,599,006	(2) 外来収益	1,118,865,215
(3) 経費	289,114,949	(3) 他会計負担金	55,356,000
(4) 減価償却費	164,032,500	(4) その他医業収益	63,235,451
(5) 資産減耗費	687,327	医業外収益	403,440,992
(6) 研究研修費	2,439,844	(1) 受取利息及び配当金	7,582,448
医業外費用	306,112,765	(2) 他会計補助金	69,073,500
(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	36,750,749	(3) 負担金交付金	20,949,500
(2) 患者外給食材料費	4,303,332	(4) 患者外給食収益	3,806,253
(3) 長期前払消費税償却	10,506,500	(5) その他医業外収益	25,377,071
(4) 他会計繰出金		(6) 国県補助金	
(5) 介護老人保健施設外 費用	200,552,184	(7) 長期前受金戻入額	69,829,500
(6) 雑損失	54,000,000	(8) 介護老人保健施設外 収益	206,656,278
		(9) 雑収益	166,442
特別損失		特別利益	
当年度純利益		当年度純損失	4,428,643
費用合計	2,521,111,999	収益合計	2,521,111,999

第12表 貸借対照表

平成28年9月30日

(単位 円)

資 産		負 債 ・ 資 本	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産	7,865,664,438	3 固定負債	4,066,508,978
(1) 有形固定資産	6,171,930,303	(1) 企業債	4,015,547,267
イ 土地	612,254,976	(2) 引当金	50,961,711
ロ 建物	4,897,992,659	4 流動負債	721,503,757
ハ 構築物	73,900,228	(1) 一時借入金	
ニ 機械及び備品	577,296,504	(2) 未払金及び未払費用	318,362,902
ホ 車両	10,485,936	(3) 企業債(1年内償還分)	174,683,251
ヘ 建設仮勘定		(4) 引当金(1年内支払分)	122,266,158
(2) 無形固定資産	70,000	(5) その他流動負債	106,191,446
イ その他無形固定資産	70,000	5 繰延収益	946,049,200
(3) 投資その他の資産	1,693,664,135	6 資本金	5,606,664,080
2 流動資産	2,028,001,497	(1) 自己資本金	5,606,664,080
(1) 現金預金	1,083,947,098	7 剰余金	△ 1,447,060,080
(2) 未収金	757,222,738	(1) 資本剰余金	84,905,191
(3) 貸倒引当金	△ 11,221,203	(2) 利益剰余金	△ 1,531,965,271
(4) 貯蔵品	114,842,079	イ 減債積立金	8,100,000
(5) 前払金	8,654,559	ロ 当年度未処分利益剰余金	△ 1,535,636,628
(6) その他流動資産	74,556,226	ハ 当年度損益	△ 4,428,643
資 産 合 計	9,893,665,935	負 債 ・ 資 本 合 計	9,893,665,935



第13表 資本的収支状況

自 平成28年4月 1日

至 平成28年9月30日

(単位 円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 資本の支出	216,255,674	1 資本の収入	93,326,000
(1) 建設改良費	37,842,390	(1) 他会計出資金	
(2) 企業債償還金	173,313,284	(2) 他会計負担金	91,266,000
(3) 貸付金	5,100,000	(3) 補助金	
		(4) 企業債	
		(6) 貸付金返還金	2,060,000
支 出 合 計	216,255,674	収 入 合 計	93,326,000

## 2. 平成27年度病院事業会計の決算概要について

### (1) 業務量

平成27年度の病院事業及び介護老人保健施設外事業の業務量の実績は下記のとおりとなりました。

#### ○病院事業

(単位：人)

病院名 (病床数)	備前病院 (90)	日生病院 (92)	吉永病院 (50)	合計 (232)
延べ入院患者数 〔1日平均〕	22,768 〔62.2〕	23,407 〔64.0〕	16,810 〔45.9〕	62,985 〔172.1〕
延べ外来患者数(人) 〔1日平均〕	52,891 〔179.9〕	51,054 〔210.1〕	95,882 〔326.1〕	199,827 〔716.1〕

#### ○介護老人保健施設外事業

(単位：人)

事業名	介護老人保健施設		訪問看護事業
	入所	通所	
延べ利用者数 〔1日平均〕	28,071 〔76.7〕	5,373 〔22.2〕	2,026 〔8.3〕

### (2) 収益的収支

病院事業では、備前病院が総収益 15 億 1,220 万 198 円、総費用 15 億 1,827 万 1,035 円で、差引 607 万 837 円の純損失が生じました。日生病院が総収益 13 億 4,488 万 8,649 円、総費用 12 億 6,047 万 5,832 円で、差引 8,441 万 2,817 円の純利益が生じました。吉永病院が総収益 19 億 9,044 万 9,970 円、総費用 19 億 6,223 万 7,023 円で、差引 2,821 万 2,947 円の純利益が生じました。

介護老人保健施設外事業では、総収益 4 億 721 万 5,310 円、総費用 4 億 205 万 6,691 円で、差引 515 万 8,619 円の純利益が生じました。

合計では、総収益は 52 億 5,475 万 4,127 円、総費用は 51 億 4,304 万 581 円で、差引 1 億 1,171 万 3,546 円の純利益が生じました。

### (3) 資本的収支

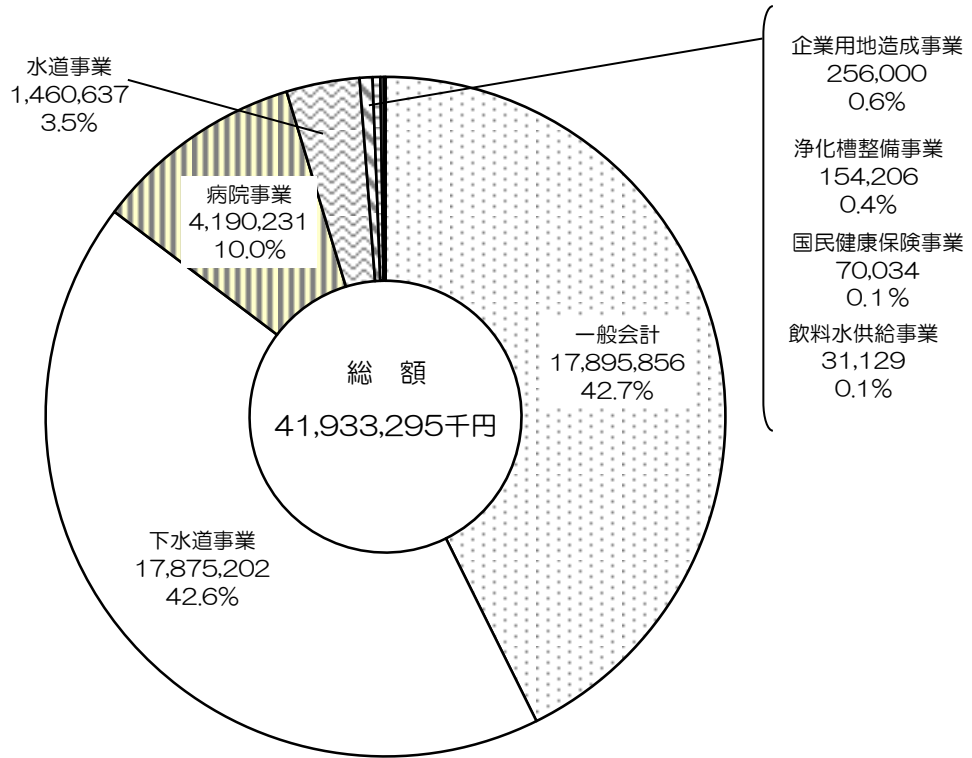
資本的収支は、建設改良費に 1 億 2,207 万 5,612 円、企業債償還金に 3 億 4,039 万 3,942 円、貸付金に 900 万円、合計 4 億 7,146 万 9,554 円を支出しており、その財源は、他会計負担金 1 億 7,844 万 3,000 円、補助金 4,610 万 9,000 円、貸付金返還金 235 万円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する額 2 億 4,456 万 7,554 円は過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

最後に、病院事業会計全体での平成27年度末未処理欠損金は15億3,563万6,628円となりました。この欠損金を解消し、かつ良質な医療の提供と安定した経営基盤の確立に向け、経営改善に取り組んでいきます。

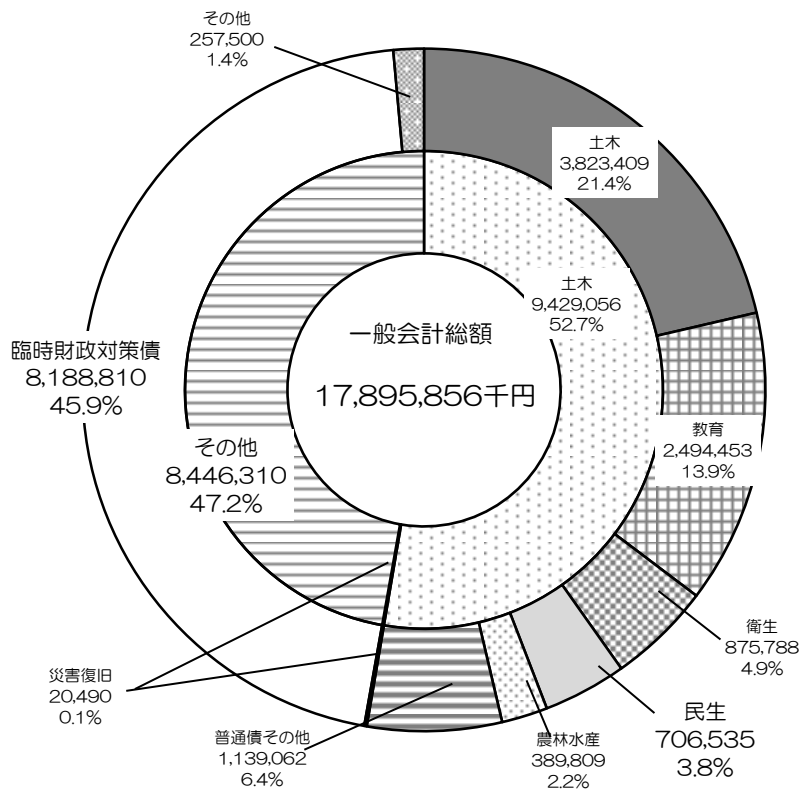
Ⅶ 市債の現在高調（平成28年9月30日現在）

（単位：千円）

第2図 会計別



第3図 一般会計



Ⅷ 一時借入金現在高調（平成28年9月30日現在）

0千円（特別会計を含みます。）

## IX 財産の現在高調（平成28年9月30日現在）

第14表 土地・建物

区 分		土 地 (㎡)	建 物 (㎡)	
行 政 財 産	公 用 財 産	庁舎	18,658	9,587
		消防施設	1,670	2,292
		その他の施設	28,061	38,232
		小 計	48,389	50,111
	公 共 用 財 産	小学校	184,627	43,531
		中学校	157,396	38,675
		公営住宅	69,509	22,165
		公園	1,458,013	5,491
		その他の施設	3,035,708	75,374
		小 計	4,905,253	185,236
	計	4,953,642	235,347	
普 通 財 産	山林	21,386,277	0	
	田畑	71,198	0	
	宅地	240,739	5,312	
	その他	747,171	2,848	
	計	22,445,385	8,160	
合 計		27,399,027	243,507	

第15表 有価証券 (平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

区 分	金 額
山陽放送 株式会社 株券	190
片上埠頭開発 株式会社 株券	10,200
日生有線テレビ 株式会社 株券	68,000
株式会社 オービス 株券	4,500
計	82,890

第16表 出資による権利 (平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

区 分	金 額
岡山県農業信用基金協会 出資金	2,260
岡山県漁業信用基金協会 出資金	2,700
公益社団法人 おかやまの森整備公社 出資金	29,600
作州かがみの森林組合 出資金	193
一般社団法人 岡山県畜産協会 (家畜自衛防疫) 寄託金	220
一般社団法人 岡山県畜産協会 (生乳検査) 寄託金	146
一般社団法人 岡山県畜産協会 (家畜ヘルパー) 寄託金	84
社会福祉法人 備前市社会福祉事業団 出資金	3,000
岡山県広域水道企業団 出資金	48,018
岡山県信用保証協会 出捐金	44,948
公益財団法人 岡山県環境保全事業団 出捐金	5,000
一般財団法人 吉井川水源地域対策基金 出捐金	2,990
公益財団法人 岡山県郷土文化財団 出捐金	1,389
公益財団法人 岡山県農林漁業担い手育成財団 出捐金	3,317
岡山県農業共済組合連合会 団体拠出金	606
一般財団法人 岡山県水産振興協会 出捐金	600
一般財団法人 岡山県牛窓海洋スポーツ振興会 出捐金	1,800
一般財団法人 岡山セラミックス技術振興財団 出捐金	234,600
公益財団法人 岡山県臓器バンク 出捐金	123
一般財団法人 備前市施設管理公社 出捐金	50,000
公益財団法人 岡山県健康づくり財団 出捐金	279
一般財団法人 砂防フロンティア整備推進機構 出捐金	200
公益財団法人 岡山県林業振興基金 出捐金	2,397
公益財団法人 岡山県暴力追放運動推進センター 出捐金	4,168
公益財団法人 岡山県動物愛護財団 出捐金	826
社会福祉法人 吉永福社会 出資金	5,000
地方公共団体金融機構 出資金	5,000
計	449,464

第17表 基金 (平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

区 分		金 額	
積 立	財政調整基金	3,931,140	
	減債基金	1,438,489	
	その他特定目的	まちづくり振興基金	1,517,828
		振興基金	1,902,698
		ふれあい交流基金	5,704
		地域福祉基金	149,898
		中山間地域保全基金	30,985
		大ヶ池管理基金	3,539
		奨学資金奥橋基金	31,102
		国民健康保険財政調整基金	170,542
		介護給付費等準備基金	461,163
		三石財産区基金	101,733
		市営墓地管理基金	14,077
		市営駐車場整備基金	4,016
		ごみ処理施設整備基金	10,026
		社会体育施設整備基金	20,761
		学校教育振興基金	18,014
		まちづくり応援基金	357,123
	定額運用	土地開発基金	503,872
計		10,672,710	

第18表 貸付金・預託金 (平成28年9月30日現在)

(単位：千円)

区 分	金 額
高齢者住宅整備資金貸付金	579
生業資金貸付金	11,716
災害援護資金貸付金	3,852
住宅新築資金等貸付金	281,174
奨学資金貸付金	40,763
計	338,084

## む す び

わが国の経済は、企業収益や雇用、所得環境などの改善のもと、緩やかな回復基調にありますが、中国をはじめとする新興国や資源国の景気下振れによる海外経済の不確実性の高まり、英国のEU離脱問題等に伴う金融資本市場の変動等のリスク、熊本地震の影響などもあり、消費、設備投資等に力強さを欠いた状況が続いています。このような中で、国は、デフレ脱却に向けた動きを加速させるとともに、一億総活躍社会の実現等を通じて、雇用、所得及び収益の改善を消費や設備投資の改善につなげるという経済の好循環を図ることとしています。

本市においては、歳入面では、依然として景気回復が波及しない市内経済や地価下落などの影響による市民税及び固定資産税の減少が見込まれる一方、歳出面では、「備前市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいて実施している地方創生関連事業に多額の経費を要することが見込まれ、さらに、子育て支援や障がい者施策などに係る扶助費、高齢者医療・介護保険事業への繰出金など社会保障に係る経費や下水道事業、病院事業をはじめとする公営企業会計等に対する繰出金も依然として高額で推移しています。また、公共交通や公共施設の維持管理経費などの大幅な増加も懸念されます。また、投資的事業では、ごみ処理施設整備事業、幼保一体型施設整備事業などの継続事業に加え、新たに庁舎整備事業を行うなど多額の一般財源の確保が必要となります。

備前市の明るい将来を見据えて今すべき事業は何か、その事業費を捻出するため、縮小又は廃止の可能な事業はないか、最少の経費で最大の効果を挙げられているか、改善点はないか、PDCAサイクルを意識しつつ、将来を見据えた安定的かつ継続的な財政基盤の構築に努めていきます。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。